

# 特別な学習支援を 必要としている子どもを 教える時の十戒

後編

ジョイス・イノウエ

通訳：稲葉寛夫

子どもの一番の必要を  
知らなければならぬ

## プロフィール

チャイルドD（学習障害（LD）、ADHD等への聖書に基づくサポート団体）の代表。学習障害の専門家として35年。3人の子を育て、2人の視聴覚の情報処理困難を診断、訓練、克服し、大卒、ミニストリーへと羽ばたかせる。カリフォルニア州立大学院LA校特別支援教育修士課程卒。フレスノ・パンフィック大、チア・カリフォルニア等で、特別講師。クリスチャンスクール400校余りをネット。2年連続の来日。

今回は6番目の戒めからスタートしたいと思います。「あなたは、子どもの一番必要としていることを知り、助けなければならない」です。

お子さんたちが今、一番必要としていることは何でしょうか。第二ペテロ1:3「というのは、私たちをご自身の栄光の徳によってお召しになった方を私たちが知ったことによって、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです」。

お子さんは、イエス・キリストを知る必要がありますか。霊的な状態はいかがでしょう。孤独を感じ



じてはいませんか。いじめられたり、友達と衝突していませんか。社会性はいかがでしょうか。自分を醜いと感じたり、あるいはやせすぎている、太っているといったコンプレックスで苦しんでいませんか。そういった子どもたちは、自分のアイデンティティで問題を抱えている可能性がありそうです。まず自分が何者であるかを知る必要があるでしょう。あるいは、人を妬んだり、誰かのようにになりたいと強い憧れを持っている場合は、親は子どもたちの様子に心を配る必要があるかもしれません。

35年間、私はアメリカの教育畑で働いてきましたが、相談に来る40〜50代の方からよく聞く叫びは、「自分は醜い」「自分は愚かで、何にもできない」というものです。福音書を見る時に、イエスさまは常に相手の心の状況やニーズを繊細に感じ取り、アプローチしていたことが分かります。しかし多くの場合、親たちは子どもの必要に応えると言いつつも、学習カリキュラムが十分かどうかということに一番の関心を向けてしまう傾向があります。

けれどもイエスさまは、決してそんな姿勢で人々に接してはいませんでした。弟子たちの数

学がどうだとか、人々の試験の点数がどうだ、というアプローチは一箇所も出て来ません。人々が涙を流す時には、イエスさまも共に涙を流し、その心の必要に向けてことばを投げかけてきま

した。

もし、子どもたちが「もう勉強なんかしたくない！」と叫ぶなら、少し時間を取って、どうしてそのような怒りや焦りを持っているのか話し合うステップが必要かもしれません。イエスさまこそベストをご存じですから、イエスさまに聞きながら進めていく必要があるのではないのでしょうか。そこからスタートしていく時に、実はたくさんの方ができることを発見するでしょう。

ホームスクーリングにはメリットが多いです。親である皆さんは、単に教科を教えるだけではなく、日常生活の様々なことを通して教えておられると思います。その中で、子どものニーズに気づくことも多いでしょうし、そのニーズに応えていく時間も与えられています。その時に一番大事なことは神さまの視点を持つことです。つまり、今、目の前に問題や困難があったとしても、それは何か失敗をしたからではなく、神さまの完全な計画の中であって許されているのだ、という視点で接していく時に、状況も変わってくると思うのです。

親である皆さん自身が模範であり、皆さんの生き様がすでに教育となっています。憐れみの心、優しさ、寛容、忍耐をもって接していく時に、子どもたちがその姿勢を学び、自分の子どもや孫、他の人々に接していくことになるでしょう。

もし、明日が地球最後の日であるとするならば、皆さんが愛をもって接している姿が最後の思い

出になるのです。逆に、「勉強しなさい」とばかり言っていると、この世の嘘に縛られた子どもたちになつていきます。私たちはいろいろな恐れや不安を持ちがちですが、神さまはそのような心配をすることはないとおっしゃって下さるのです。

## やる気を出させるヒント、 挫くヒントの違い

7つめの戒めは、「子どものやる気を出させることと、やる気を挫くことの違いを知らなければならぬ」。「ロサイ2:2,3」……神の奥義であるキリストを真に知るようになるためです。このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。

神さまは、乗り越えられる試練だけを私たちに体験させます。どんなに困難な状況に置かれても、神さまを信頼するなら、最後には神さまが必ず乗り越えさせて下さるのです。では、子どもたちもこのように私たち親を信頼できているでしょうか。

子どもが何か問題を抱えているとしたら、親はそれゆえに潰してしまうことなく、どのようにしてそれを解決していくかを考えましよう。子どもたちが喜んで勉強しているなら基本的な問題は無いと思いますが、喜んで勉強できていなくなったり、注意が散漫になっているなら、もしかすると、何か問題を抱えているかもしれませぬ。それは、単に

子どもたちが怠けているということではなく、子どもたちが助けを求めている1つのヒントかもしれないのです。「ダメ！」と叱ることだけでは解決にはなりません。せむ、子どもたちにとって適切な課題を選んでるか、吟味なさって下さい。

## 子どもが学びやすい 学習法を選ぶ

8つめの戒めは、「あなたは、子どもが学びやすい方法で、ずっと教えていかなければならない」。詩篇139:14「私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさつて恐ろしいほどです。私のたましいは、それをよく知っています」。

子どもたちには、それぞれ得意な方法があると思います。見て判断するのが得意な子ども、ある

いは聞いて判断する子ども、あるいは書いたりして表現するのが得意な子ども、あるいは話すのが得意な子どもなど、それぞれです。ですから、子どもたちの能力、興味、習得スピード、集中力、性格を見極めた上で指導していく必要があります。

逆に、苦手な方法に力を入れるのは避けたいほうがいいでしょう。お子さんたちに指導した時に、「ん？ え？」という反応しが返ってこない場合、ことはだけで教えるのではなく、書いて教えると力を発揮する子どももいます。一方、書くことが苦手な子どもたちには、物語的に話してあげるのが一番分かりやすい方法です。

1つの例を挙げてみましょう。例えば、私はまったくアメフトができませんし、お餅も投げられないレベルなので(笑)、いきなりアメフトのボールを上手に投げるコツを教えてもらっても、私は固まって



しまつと思ひます。でも、アメフトのルール解説から教えてもらえれば、私はアメフトの楽しさを知り、そこから練習に取り掛かれるかもしれません。

つまり、同じことを教えるにしても、道は一つではないということです。もし、読書が苦手な子どもであれば、「とにかく読みなさい」という方法よりも、その子が犬好きであれば、子犬のストーリーを作ったりして、そこから読むことに慣れていくという、創造的な方法を考えて行くほうが適切な場合があります。つまり、子どもたちが関心を持っている分野、喜んでやるところから伸ばしていく方法が、ホームスクーリングならできるわけです。

例えば、「これから本を読むよ」と子どもに声をかけた時に、「聞きたくない」という反応であれば、「OK! 子犬の話だったんだけど、また次にするね」と言えば、「子犬の話だったら聞きたい」と言ってくるのではないのでしょうか。その時に、子犬の絵を描いてあげて、子どもの興味を引き出してあげれば、次の「読む」という道が開かれてくるでしょう。その際、子どもたちの感情や態度を記録しておくといいと思います。その記録が蓄積されていけば、子どもたちがどついつ分野が得意か、あるいは不得意かが分かってくるからです。

忍耐力が続かない子どもには、最初から長く勉強させないことが肝心です。5〜10分ごとに休憩を入れて、また勉強を再開する、ということを繰り返すのがいいでしょう。特に、学習障害の可能性が

あるお子さんの場合、そのような工夫が障害を乗り越えて行く大きなヘルプとなります。そのようなお子さんが3年生以上になったら、30分間、集中的に学習した後は、20分間の休み時間、そして再び30分の集中学習と20分の休み時間を繰り返すようにと、親御さんには勧めています。

## 柔軟性を持った ホームスクーリング

ホームスクーリングのもう一つのメリットは、子どもたちが一番力を発揮できる時間帯を選ぶことです。ある子どもたちは朝型ではないかもしれませんが、あるいは親が朝型ではないケースもあります。その場合は、遅い時間からスタートすることもできますね。

また、秋に力を発揮できたり、冬あるいは夏というように、季節によって集中力が変わってくる子どももいます。アメリカでは、特に春や秋などにアレルギーが出やすい人が多く、勉強に集中できない子どもも結構います。私自身を振り返ってみても、春は新しいことが始まるので力が出やすいシーズンですし、10月を過ぎると、この後は感謝祭やクリスマスがあつて忙しいなあどゲンナリすることもあ

ります。あるいは、月曜から金曜日まではホームスクーリングという固定観念は持たなくてもいいかもしれません。それが、ホームスクーリングの柔軟性でもありますね。

子どもたちの喜びや恐れがどこにあるかを注意深く見て行くと、子どもたちに合った教育法の助けになります。アメリカでは中学生になると、理科の授業で力エルの解剖実験があります。ほとんどの女の子は嫌がります。私もどうしてこんなことをやる必要があるのかしら、と思います(笑)。それを無理やりに行つて嫌な臭いをかぐよりも、本で写真を見るなりして学ぶのもいいのではないかと個人的には思います。

喜びというのはホームスクーリングの大事な要素です。必ずしも机に向かつた勉強だけではなく、時にはデイズーランドでホームスクーリングすることも可能ではないでしょうか。でも、今の話を学校の先生にすると、「え? ちよつとおかしいんじゃないの?」という反応が返つて来ます。そこは発想の転換で、日常生活の中で実際にお金を使つたり、人にどのようにつ接するかを学ぶ実体験からの学習が逆に子どもたちに喜びをもたらすし、教科書を使つた勉強を励ますことにもつながると思います。

そのような創造的な方法で教えて行く時に、子





どもたちは勉強とは楽しいものだと思いつけていきます。喜んで学んでいる時には、脳自体も知識を吸収しようと開かれた状態にあるので、子どもの集中力、理解力、自信、そして希望や記憶力が高められます。イエスさまが弟子訓練をする時に、怒りながらもではなく創造的に教えていった方法と重なるのではないのでしょうか。いわゆる詰め込み教育は身につきません。子どもたちが自発的に勉強する入口を工夫していくと、全然違う形で道が開かれていくものです。

## 教科学習よりも神についてしっかりと教える

9番目の戒めは、「皆さんは単に都合が良いことだけではなく、必要なことを教えなければならぬ」。詩篇119:66「よい分別と知識を私に教えてください。私はあなたの仰せを信じていますから」。

親も子どもも疲れているような時は、柔軟性をもつてやっていく必要もあると思います。カリキュラムに沿って1ページずつ進んで行く方法もありますが、「まだこんなにたくさんある」という気持ちになってしまうこともあります。娘がまだ3、4歳だった頃に料理を教えた時、私は細かく、口うるさく教えてしまったことがあります。台所は汚いし、娘は自由奔放に味付けをしようとするので、

私はひたすら「ダメ、ダメ。レシピ通りにやって」と言い続けていました。その結果、クッキーは丸焦けになってしまい、結局、無駄になってしまった思い出があります。そんな娘も今や19歳となり、1週間に1回はデザートなどを作ってくれます。お腹がすけば自分で料理しますし、友達が病気になれば、ケーキを作って聖書のことばと一緒にプレゼントしたり。小さい頃は台所がめちゃくちゃでも、それもまたレッスンになりました。

数学や理科など教科学習にあまりにも捕らわれ過ぎていくと、人格を含めた大事なものを失ってしまふ可能性もあります。この世はますますテクノロジー化が進み、もつと学ばなければいけないという世の中になっていっています。「コンピューターも学ばなければならぬでしょう。でも、それよりも、神さまのことをしっかりと子どもたちに教えていくことが、子どもたちの生命線になっていきます」。

アメリカでは、大学入試のための全国テスト(SAT)があるのですが、それで好成绩を取めながらも、結果的には大学に入れない子どもも多いのです。それはバランスを失っているからです。学級の成績はすば抜けて良いのに、人との接し方が分からず、どのように生きていけばいいのかわからないので、他のテストで点数を稼げないのです。ですから、長い目で見るとマイナスとなります。



## 主のほかに神々があつてはならない

10番目の戒めです。「あなたは、自分の子どもにわたし(神)のことを教えなければなりません。わたしのほかに神々があつてはならない」。ルカ10:27  
 「心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ」、また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』とあります」。

日本では八百万の神々を信じていると聞きました。この世のアイドルも偶像となります。美しく、運動神経に優れた、いわゆるスターたち、もつと言えば背後にいるサタンが、子どもたちの心を盗み取

る危険性があるので、こうした社会の中で、皆さんは、最も偉大なメッセージを子どもたちに教える素晴らしいチャンスを手に入れています。どのように神さまに従順に導いていったらいいのかを教える時に、子どもたちに喜び、愛、救いをもたらすのです。それを教え続けて行く時に、サタンは子どもたちの心を盗

■ 第6回グランプリ大会(白馬にて)  
 第7回詳細は、  
[www.cheajapan.com](http://www.cheajapan.com) (白馬セミナーへ)

むことはできなくなります。まずは一歩一歩、進んでいくことです。

◇ ここまで10の戒めを語ってきました。神さまについて子どもたちに教え、神さまが彼らにとってどういうお方なのか知識を築き上げ、彼ら自身が神さまにとってどういう存在なのかを教えていく時に、子どもたちは自分が大きな計画と神さまの栄光のために創られた存在であること知るようになります。最初は、子どもたちにどう接したらいいのか分からない方もいるかもしれませんが、一歩ずつ行っていく時に、きっと皆さんは成功することでしょう。

**心も体も満ち足りた時間を、  
北アルプス・自馬山麓の自然と共に。**

美しい四季に彩られた白馬山麓の奥深くに佇む通年型リゾートホテル。  
 トレッキングやウィンタースポーツを楽しむアクティブな旅から、  
 のんびりした滞在型のご旅行まで、多彩なプランをご提案いたします。

**ALL YOU CAN EAT  
DINNER  
BUFFET**  
地元の素材を使用した  
グルメディナーバイキング

自馬コルチナ  
**美人の湯**  
自家源泉かけ流しの  
浴槽でゆったり

**料金** 1泊2食付き **8,000円** [税込] より  
おひとり様

※表示は5名様1室の料金です。

礼拝・集会等にご利用可能なホールもございます。団体でのご利用ほか詳細はお問合せ下さい。

**ホテルグリーンプラザ白馬**  
HOTEL GREEN PLAZA HAKUBA  
 〒399-9422 長野県北安曇郡小谷村千国乙12860-1  
 ご予約・お問合せ **0261-82-2236** <http://www.hgp.co.jp>